

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 9月21日 作成

		担当課	学校教育グループ					
事務事業名		A E T 招致費			施策コード	331311273		
施策の体系	大項目	未来を担う人材の育成			法的根拠等	法令	条例	その他
	中項目	学校教育の充実				実施方法	直営	委託
	小項目	学校教育						
	財務名称	A E T 招致費						
事業概要	英国人の英語指導助手（A E T）を招致し、町内の子供達の国際的感覚の向上を図る。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	町内小学校児童、中学生生徒、高校生生徒			(1) 福島中学校へ在籍し指導する。(週3日) (2) 各小学校へ出向き指導する。(隔週) (3) 商業高校へ出向き指導する。(週1日) (4) 保育所等へ出向き交流する。(年2日程度)				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
			(1) 外国人とのふれあいにより、国際的感覚の向上を図る。 (2) 英語力の向上を図る。					
1 必要性	(1) 町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	1	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。(点数対象外)		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		英語に対する意欲や態度が育成され、会話などの英語力向上がみられることから、今後必要である。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		・児童生徒と町民を対象とした英会話教室を開催しており、会話などの英語力向上が図られることから必要である。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点		・国の施策による小学生の英語教育の推進が求められていることから、A E Tによる英会話教育は最も有効な教育効果が得られる。				
	追加事由	1点						
2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性			計	3	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。	1点		・直接外国人に接することができ、英語力向上に有効である。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点		・英会話に限らず、外国人に接する態度が積極的になった。			
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1) 達成度の測定			計	1	点		
		区分	指標(算式)	単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	指導学校数	校	5	5		
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	指導時数	時数	583	584		
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点		指導時数実績のとおり、多岐に渡り活用されており、成果として指導時数の増加を要望されるなど、8年を経過しており効果が表れてきている。また、町民に対する英会話教室も実施されている。			
	あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移		計			点																																																																																																																									
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																						
	事業費	千円	5,372	4,979	5,212			低下している	1点																																																																																																																						
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																						
	地方債	千円				賃金		上昇している	-1点																																																																																																																						
	その他	千円				共済費		説明																																																																																																																							
(財源内訳)	一般財源	千円	5,372	4,979	5,212																																																																																																																										
(2)手法の効率化	計		1		点		(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																								
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点		・年間の指導スケジュールを詳細に調整し、幼稚園児から高齢者まで英会話教室を開催するなど、指導状況をアピールすることにより招致事業としての効果が認識されている。																																																																																																																								
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点		・英会話教室の中で料理講座を開くなど、国際理解が高められている。																																																																																																																								
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点																																																																																																																										
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																						
	B		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 必要性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>2 有効性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3 達成度</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4 効果性</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		項目	点数	1 必要性	2	2 有効性	3	3 達成度	1	4 効果性	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6										5										4										3										2										1										0										-1										-2										低	達成度+効果性
項目	点数																																																																																																																														
1 必要性	2																																																																																																																														
2 有効性	3																																																																																																																														
3 達成度	1																																																																																																																														
4 効果性	1																																																																																																																														
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																						
									6																																																																																																																						
									5																																																																																																																						
									4																																																																																																																						
									3																																																																																																																						
									2																																																																																																																						
									1																																																																																																																						
									0																																																																																																																						
									-1																																																																																																																						
									-2																																																																																																																						
									低																																																																																																																						
担当課評価	A		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																												
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																														
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																									
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																														
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																									
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																									
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																									
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																														
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																									
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																									
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																									
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																															
廃止		統合			縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																						
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																				
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																									
	児童生徒と町民を対象とした英会話教室を開催しており、会話などの英語力向上が図られた。					指導状況をアピールし、町民にも親しみを持って接してもらうことができるよう、英会話教室等への参加促進を図る必要がある。																																																																																																																									
二次評価	庁内委員会評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																						
	説明		指導状況をアピールし、生涯学習事業等を通して、町民にも親しみを持って接してもらうことができるよう、英会話教室等への参加促進を図る必要がある。																																																																																																																												
三次評価	三次評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																						
	説明		外国人とのコミュニティ能力の向上が図られているため、事業を拡大して特色ある教育を目指すとともに、高校存続のツールとしても活用するべきである。																																																																																																																												